

II. 鳥取県の経済動向（2025年1月6日鳥取県公表）

1. 基調判断【一部に弱さが残るも、下げ止まりの動き】

一致指数は雇用面などの指標が押し下げ、単月で前月比マイナスとなるも、景気の基調は下げ止まりの動き。一部に弱さが残るも、先行きも下げ止まりの動きが見込まれる。

景気動向指数 (D I ※1)		2024年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
一致指数※2	原指数	57.1	42.9	14.3	57.1	71.4	
	7ヶ月平均	55.1	55.1	55.1	49.0	51.0	
先行指数※3	原指数	50.0	16.7	66.7	50.0	50.0	
	7ヶ月平均	45.2	42.9	45.2	47.6	47.6	

※1 D I 指数 3か月前と比較して改善した指標の数÷採用された指標の数指数が50を割ると景気が良くないと判断される。

※2 一致指数 有効求人倍率、就職率、所定外労働時間指数、製造工業生産指数、実質百貨店販売額、人件費率、輸入通関実績（7指標）

※3 先行指数 新規求人数、生産財生産指数、日経商品指数、新設住宅着工戸数、民間金融貸出残高、信用保証申込額、不渡手形発生率（7指標）

2. 鉱工業生産動向【一部に弱さが残るも、持ち直しの動き】

パルプ・紙・紙加工品工業、食料品・たばこ工業、電子部品・電子デバイス工業などが押し下げ、生産指数は、足元で下振れるも、全体の基調としては、なお持ち直しの動き。一部に弱さが残るも、先行きも持ち直しの動きが見込まれる。

(前月比の単位：%)

鉱工業生産指数		2024年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
全体	生産指数	87.8	85.0	88.2	95.5	88.6	
	前月比	▲1.8	▲3.2	3.8	8.3	▲7.2	
	出荷指数	90.9	91.4	90.1	97.3	95.0	
	前月比	▲4.8	0.6	▲1.4	8.0	▲2.4	
	在庫指数	112.9	113.7	116.7	118.7	119.8	
前月比	▲2.0	0.7	2.6	1.7	0.9		
電子部品・デバイス	生産指数	64.3	64.0	67.9	76.6	68.0	
	前月比	▲4.5	▲0.5	6.1	12.8	▲11.2	
電気・情報通信機械	生産指数	76.3	72.0	62.4	78.3	73.3	
	前月比	9.5	▲5.6	▲13.3	25.5	▲6.4	
食料品・たばこ	生産指数	101.5	93.3	114.4	109.4	99.9	
	前月比	▲5.1	▲8.1	22.6	▲4.4	▲8.7	
パルプ・紙・紙加工品	生産指数	105.5	106.7	114.7	118.1	93.6	
	前月比	4.9	1.1	7.5	3.0	▲20.7	

3. 消費動向【持ち直しの動きが見られる】

百貨店、ホームセンター、家電量販店、乗用車は前年同月比マイナスとなるも、スーパーはプラスが続く。消費全体としては、なお持ち直しの動きが見られる。先行きも緩やかな持ち直しが見込まれる。

(単位：百万円、%)

大型小売店販売額		2024年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計	販売額	5,322	5,387	5,509	4,836	4,839	
	前年同月比	16.4	6.9	10.9	8.9	6.3	
百貨店	販売額	1,195	1,216	1,028	1,089	1,061	
	前年同月比	11.5	5.9	2.8	5.6	▲1.1	
スーパー	販売額	4,128	4,171	4,480	3,748	3,778	
	前年同月比	17.9	7.2	12.9	9.9	8.6	

○10月全体：48億円、前年同月比 6.3%増（6ヵ月連続）

○10月百貨店：11億円、〃 1.1%現（10ヵ月ぶり）

○10月スーパー：36億円、〃 8.6%増（5ヵ月連続）

(単位：前年同月比、%)

ホームセンター 家電量販店販売額		2024年					
		6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計		6.1	▲2.3	1.6	▲1.3	▲9.8	
ホームセンター		0.4	▲5.1	3.4	▲1.7	▲9.4	
家電量販店		13.1	0.5	▲0.3	▲1.0	▲10.3	

○10月全体：22億円、前年同月比 9.8%減（2ヵ月連続）

○10月業態別

・ホームセンター：13億円、〃 9.4%減（2ヵ月連続）

・家電：9億円、〃 10.3%減（3ヵ月連続）

(単位：前年同月比、%)

乗用車新車新規 登録台数		2024年					
		7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		7.6	▲9.1	3.6	6.2	▲7.5	
登録車		8.5	▲11.7	▲1.8	22.7	1.5	
軽自動車		6.3	▲6.0	10.7	▲12.7	▲17.7	

○11月全体：1,776台、前年同月比 7.5%現（2ヵ月ぶりのマイナス）

・登録車：1.5%増（2ヵ月連続：普通車 7.9%増、小型車 10.4%減）

・軽自動車：17.7%現（2ヵ月連続）

4. 雇用動向【弱めの動きが続く】

有効求人倍率は前月比プラスが続くも、新規求人倍率はマイナス。所定外労働時間は全産業、製造業ともに前年同月比マイナス。基調としては弱めの動きが続いており、先行きは弱含む。
(単位：倍)

	2024年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新規求人倍率	2.20	2.48	2.35	2.36	2.32	
前月差	▲0.16	0.28	▲0.13	0.01	▲0.04	
有効求人倍率	1.25	1.22	1.25	1.28	1.29	
前月差	0.03	▲0.03	0.03	0.03	0.01	

(事業所規模 30人以上、2020年=100)

所定外労働	2023年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査産業計 (1人当たり時間)	8.6	8.9	8.3	8.8	8.7	
労働時間指数の 前年同月比 (%)	▲5.5	3.5	▲4.6	▲10.3	▲8.4	
うち製造業 (%)	▲8.3	▲6.8	1.1	▲10.7	▲14.7	

5. 企業倒産動向

2024年の倒産件数は38件で前年比19件増、負債総額は61億3500万円で前年比の2倍増となり、倒産ゼロ件の月が1年間通じて一度もなかったのは2016年以来8年ぶりのことである。
(過去10年間で最も倒産が多かったのは2016年(32件))

今後も消費不振やコスト高、金利上昇といった懸念材料を抱えながらの経営を余儀なくされることが予想され、中にはコロナ融資の返済開始に伴う資金繰りのひっ迫が加わるなど事業継続が難しくなっている企業が一定数存在しているものと思われる。

年	倒産件数	負債総額	年	倒産件数	負債総額
2018年	22件	39億22百万円	2022年	23件	32億55百万円
2019年	19件	29億21百万円	2023年	19件	54億14百万円
2020年	19件	40億98百万円	2024年	38件	61億35百万円
2021年	15件	21億14百万円			

6. 消費者物価指数(2024年)

2024年11月の鳥取市の消費者物価指数は、総合で109.9(2020年=100)となり、前年同月比は2.9%の上昇(37ヵ月連続)、前月比は0.5%の上昇(2ヵ月連続)となった。

前年同月比の変動に寄与した要因は食料、教養娯楽、光熱・水道、交通・通信、住居、家具・家事用品などの上昇である。前月比の変動に寄与した要因は食料、光熱・水道などの上昇である。
(2020年=100)

2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
99.9	100.4	100.0	99.3	101.9	105.6
2024年1月	2月	3月	4月	5月	6月
107.4	107.2	107.3	107.5	108.1	108.0
7月	8月	9月	10月	11月	12月
108.4	109.3	108.8	109.3	109.9	